

8月25日から29日の5日間、総合土木(農業土木)職のインターンシップ実習生を受け入れました。

期間中は、県職員の仕事内容やほ場整備の重要性について学んでいただき、頭首工や排水機場などの施設も見学しながら、農業用水が取水からほ場へと流れる仕組みを実地で体験してもらいました。

また、整備前後の農地や道路・水路を比較することで、ほ場整備による効果と必要性について感じていただくことができました。

総合土木に興味がある方、公務員試験を目指している方へ!インターンシップは、実際の現場を見て学べる貴重な機会です。

「百聞は一見にしかず」——ぜひご参加ください!







